計画値:令和2年度、実績値:令和3年3月末

ステップ1:認定率の比較

第1号被保険者数

				(%)		
	計画値 (R2)	実績値 (R2)	差異	実績/計画	差異について考えられる要因やその確認方法	
要介護認定率		19.5%	19. 1%	0. 4%	97. 8%	
年齢階級	前期高齢者	5.0%	4. 9%	0. 1%	97. 6%	
	後期高齢者	34. 5%	33. 6%	1.0%	97. 1%	

計画値(R2)	実績値(R2)
14, 525	14, 340
1, 906	1, 862
12, 619	12, 478

	(人)
計画値(R2)	実績値(R2)
74, 528	75, 204
37, 998	38, 021
36, 530	37, 183

ステップ2:受給率の比較

利用者数

認定者数

(人)

(%)							(人)			
	サービス名	計画値 (R2)	実績値 (R2)	差異	実績/計画	差異について考えられる要因やその確認方法	計画値(R2)	実績値(R2)	実績値(R1)	実績値(H30)
	訪問介護	1. 7%	1. 6%	0. 1%	97. 0%		15, 012	14, 693	12, 757	12, 743
	訪問入浴介護	0. 1%	0. 1%	0.0%	93. 4%		696	656	459	474
	訪問看護※ 1	0. 7%	1. 0%	-0. 3%	136. 3%	新型コロナウイルスの蔓延に伴い、人が集まる通所系 サービスの利用を控えた方が、訪問看護へと流れたた め、計画値と実績値が乖離した可能性が考えられる。	6, 408	8, 816	7, 373	6, 725
	訪問リハビリテーション	0.4%	0. 4%	0. 1%	87. 5%		3, 924	3, 463	3, 471	3, 760
	居宅療養管理指導※1	1.5%	2. 5%	-1.0%	165. 3%	医療の診療報酬が減となっている状況で医師、薬剤師、歯科医師、歯科衛生士等が介護保険事業所として事業拡大している可能性が考えられる。	13, 392	22, 334	19, 623	16, 350
居宅サービス	通所介護※2	6.8%	5. 9%	0. 9%	87. 0%		60, 828	53, 387	54, 103	51, 851
	通所リハビリテーション※2	2. 5%	2. 1%	0.4%	84. 6%	通所系サービスや居住系サービスについては、新型コロナの影響により、実績値が伸びずに計画値との乖離が大きくなったと考えられる。	22, 488	19, 205	20, 979	20, 734
	短期入所生活介護※2	0.3%	0. 3%	0. 1%	84. 5%	新型コロナが発生する前のH30からR1にかけての利用者数は増加しており、R1からR2にかけて利用者の数が減少している。	3, 060	2, 609	3, 360	3, 131
	短期入所療養介護(老健)※2	0.1%	0. 1%	0.0%	80. 4%		780	633	948	837
	短期入所療養介護 (病院)	0. 1%	0. 0%	0. 1%	0. 0%		732	0	0	0
	福祉用具貸与	8. 4%	8. 2%	0. 2%	97. 3%		75, 444	74, 046	69, 739	64, 437
	特定施設入居者生活介護	0. 5%	0. 5%	0.0%	93. 8%		4, 896	4, 632	4, 559	4, 670
	定期巡回・随時対応型※2	0. 1%	0. 0%	0.0%	33. 8%	計画通りに受託事業者の確保が出来なかったため、受 給率が伸びなかったと考えられる。	540	184	31	11
	夜間対応型訪問介護	0.0%	0. 0%	0.0%	0. 0%		60	0	0	0
	認知症対応型通所介護※2	0. 1%	0. 0%	0. 1%	18. 9%	通常の通所介護でも認知症を対応する事業所が増えていることや、自立支援医療のデイケアを利用している方も増えていることから、介護サービス以外のサービスを活用して取り組んでいる方が増えていると考えられる。	756	144	143	155
地域密着型 サービス	小規模多機能居宅介護	0.4%	0. 4%	0.0%	92. 2%		3, 528	3, 284	3, 388	3, 324
) LX	認知症対応型共同生活介護※2	0.5%	0. 3%	0.1%	73. 6%	H30からR2にかけて利用者数は増加しているが、計画値の受給率より低いため、第7期の推計時期と比較し、伸び率が鈍化したことが要因と考えられる。伸び率の鈍化に関しては、計画による事業所開所がコロナ禍によりずれ込んだことが影響していると考えられる。	4, 104	3, 048	2, 774	2, 759
	地域密着型特定施設入居者生活介護※ 2	0. 2%	0. 1%	0. 1%	59. 7%		1, 740	1, 048	949	667
	地域密着型介護老人福祉施設※2	0.3%	0. 2%	0. 1%	61.5%		2, 784	1, 728	1, 707	1, 363
	看護小規模多機能型居宅介護※2	0.1%	0. 0%	0.1%	7. 8%	計画通りに受託事業者の確保が出来なかったことや、 事業所開所がずれ込んだことが要因と考えられる。	1, 200	94	0	0
	地域密着型通所介護※2	0.6%	0. 5%	0. 1%	80. 0%	通所介護と同様の理由。	5, 568	4, 495	5, 145	5, 207
施設サービス	介護老人福祉施設※2	0. 9%	0. 8%	0. 1%	88. 5%	第7次プランの施設整備はないため、受給率の低下に 関しては、地域密着型サービスへの移行が影響してい る可能性が考えられる。	8, 460	7, 559	7, 926	8, 091
	介護老人保健施設	1.1%	1. 0%	0. 1%	90. 8%		10, 116	9, 267	9, 498	9, 790
	介護医療院※2	0. 1%	0. 0%	0. 0%	51. 0%	計画値通りに受託事業所の確保が出来なかったこと や、事業所開所がずれ込んだことが要因と考えられ る。 H30-R2にかけては受給率は増加傾向となっている。	804	414	350	0
	介護療養型医療施設※ 2	0.1%	0. 0%	0.0%	61. 2%	サービス提供施設の減少したことが原因と考える。	528	326	408	561
介護予防支援・	居宅介護支援	11. 4%	11. 3%	0. 1%	99. 0%		102, 336	102, 265	99, 529	95, 431
	※1実績値/計画値が110%以上のサービ	ス(宝績信	すが計画値を	₹10% 上回	っているサ	ービス)				

ステップ3: 文稿 目 I 人のにり続い 質の比較 (円)						和 刊 复	(円)			
	サービス名	計画値 (R2)	実績値 (R2)	差異	実績/計画	差異について考えられる要因やその確認方法	計画値(R2)	実績値(R2)	実績値(R1)	実績値(H30)
	訪問介護	79, 459	85, 745	-6, 286	107. 9%		1, 192, 842, 000	1, 259, 856, 607	946, 657, 487	890, 995, 169
	訪問入浴介護※2	93, 389	70, 393	22, 997	75. 4%	事業所数が3事業所で利用者が少数のため、計画値と 実績値のブレが生じやすいことが要因と考えられる。	64, 999, 000	46, 177, 596	31, 730, 279	31, 337, 018
	訪問看護	40, 392	44, 312	-3, 920	109. 7%		258, 831, 000	390, 653, 088	362, 822, 669	310, 363, 040
	訪問リハビリテーション※2	47, 758	39, 849	7, 908	83. 4%	要支援の1人1月あたりの利用回数は計画値より実績値が高く、要介護の1人1月あたりの利用回数が計画値よりも実績値が低くなっていることから、軽度化の利用者が多いことから受給者1人あたりの給付費が低くなっていると考えられる。	187, 401, 000	137, 998, 689	134, 250, 003	137, 801, 257
	居宅療養管理指導	6, 554	6, 774	-220	103. 4%		87, 772, 000	151, 301, 595	127, 393, 021	104, 884, 814
居宅サービス	通所介護	145, 195	151, 096	-5, 902	104. 1%		8, 831, 915, 000	8, 066, 586, 221	7, 918, 468, 577	7, 511, 362, 959
	通所リハビリテーション	90, 029	89, 207	822	99. 1%		2, 024, 573, 000	1, 713, 224, 021	1, 834, 448, 151	1, 822, 682, 889
	短期入所生活介護	98, 062	94, 453	3, 609	96. 3%		300, 069, 000	246, 427, 345	245, 942, 621	228, 438, 716
	短期入所療養介護 (老健)	66, 382	66, 575	-193	100. 3%		51, 778, 000	42, 141, 839	59, 914, 288	55, 327, 468
	短期入所療養介護 (病院)	60, 217	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		44, 079, 000	0	0	0
	福祉用具貸与	8, 919	9, 117	-197	102. 2%		672, 911, 000	675, 059, 282	615, 097, 395	570, 553, 028
	特定施設入居者生活介護	188, 398	190, 268	-1, 870	101.0%		922, 399, 000	881, 321, 939	862, 627, 265	874, 138, 000
	定期巡回・随時対応型※2	186, 109	161, 361	24, 748	86. 7%	計画通りに受託事業者の確保が出来なかったことや、利用者が少ないため計画値と実績値のブレが生じやすいことが要因と考えられる。	100, 499, 000	29, 690, 396	4, 185, 930	530, 028
	夜間対応型訪問介護	27, 183	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		1, 631, 000	0	0	0
	認知症対応型通所介護	186, 142	167, 646	18, 495	90. 1%		140, 723, 000	24, 141, 042	26, 635, 501	23, 763, 939
1.1 1 h	小規模多機能居宅介護	204, 151	206, 288	-2, 138	101.0%		720, 243, 000	677, 451, 358	700, 133, 100	691, 478, 026
地域密着型 サービス	認知症対応型共同生活介護	257, 139	256, 744	396	99. 8%		1, 055, 300, 000	782, 555, 054	703, 586, 296	685, 589, 833
	地域密着型特定施設入居者生活介護	205, 563	193, 113	12, 449	93. 9%		357, 679, 000	202, 382, 633	183, 831, 106	133, 595, 661
	地域密着型介護老人福祉施設	262, 093	278, 749	-16, 656	106. 4%		729, 667, 000	481, 678, 593	447, 657, 347	358, 018, 505
	看護小規模多機能型居宅介護	248, 976	225, 080	23, 895	90. 4%		298, 771, 000	21, 157, 559	0	0
	地域密着型通所介護	101, 611	104, 280	-2, 669	102. 6%		565, 769, 000	468, 739, 570	526, 185, 741	544, 620, 904
施設サービス	介護老人福祉施設	252, 641	266, 529	-13, 889	105. 5%		2, 137, 339, 000	2, 014, 695, 925	2, 065, 898, 066	2, 070, 597, 534
	介護老人保健施設	265, 472	283, 501	-18, 029	106. 8%		2, 685, 515, 000	2, 627, 205, 088	2, 616, 501, 492	2, 643, 771, 011
	介護医療院※ 1	288, 715	343, 968	-55, 252	119. 1%	介護と医療が必要な重症化した方が、推計値より増加した。	232, 127, 000	142, 402, 601	126, 106, 914	0
	介護療養型医療施設※1	293, 973	348, 976	-55, 002	118. 7%	したことにより、一人当たりの受給額が増加したと考えれれる。	155, 218, 000	113, 766, 035	135, 068, 283	172, 196, 388
介護予防支援・居宅介護支援		12, 547	13, 045	-498	104. 0%		1, 283, 991, 000	1, 334, 074, 378	1, 276, 959, 514	1, 235, 868, 351

※1 実績値/計画値が110%以上のサービス(実績値が計画値を10%上回っているサービス) ※2 実績値/計画値が90%未満のサービス(実績値が計画値を10%下回っているサービス)

ステップ4:サービス提供体制に関する現状と課題

要介護認定率が、計画値(19.5%)よりも実績値(19.1%)が下回っている状況である。その要因として、第1号被保険者数が計画値よりも実績値を 上回っており、計画策定の推計時よりも高齢化が進行している可能性が考えられる。認定者数に関しては、計画値と実績値に多少の差があるが見込み 通りの推移状況である。

受給率の現状としては、一昨年度(H30)、昨年度(R1)と同様に、医療ニーズの高い要介護者が利用する居宅療養管理指導や訪問看護の受給率が高くなっている。要因として、新型コロナウイルスの蔓延に伴い、人が集まる通所系サービスの利用を控えた方が、訪問看護へと流れた影響で居宅療養管理指導の利用が増加し、その反面、通所系サービスの利用が減少したことにより、計画値と実績値が乖離した可能性が考えられる。

受給者一人当たりの給付費に関しては、昨年度同様で施設サービス全般の給付費が高く訪問系サービスの給付費が低く推移している状況である。今後の課題としては、新型コロナの状況を注視しながら計画値と実績値の乖離状況を分析し、利用者のニーズがどのように変化しているのかを把握することが重要と考える。